

連続7晩の簡易型睡眠脳波計データから捉える 日中の活動と睡眠内容との関連性

国際統合睡眠医科学研究機構

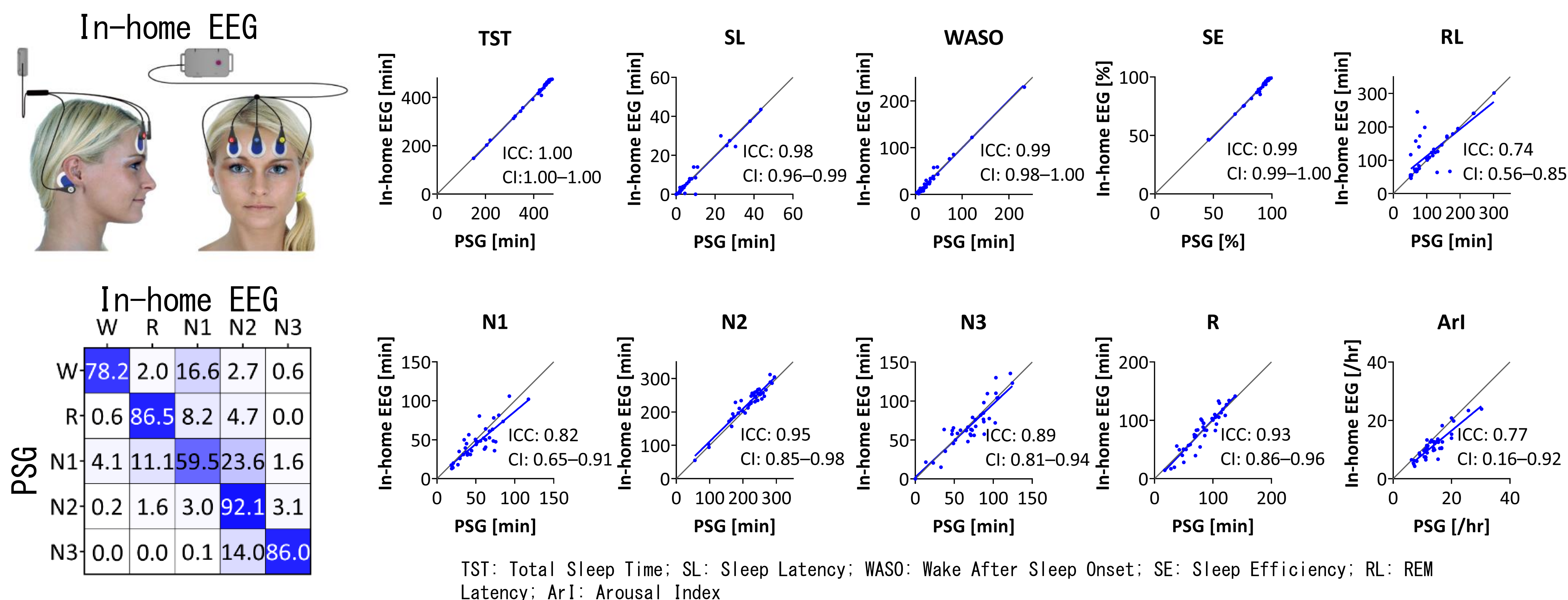
准教授 阿部高志

睡眠ポリグラフ検査との一致率が高い簡易型睡眠脳波計を開発した。この装置を用いた自宅での睡眠記録により、睡眠内容との関連性を有する日中の活動を抽出可能である。

本研究は、株式会社S' UIMINとの共同で実施しています。

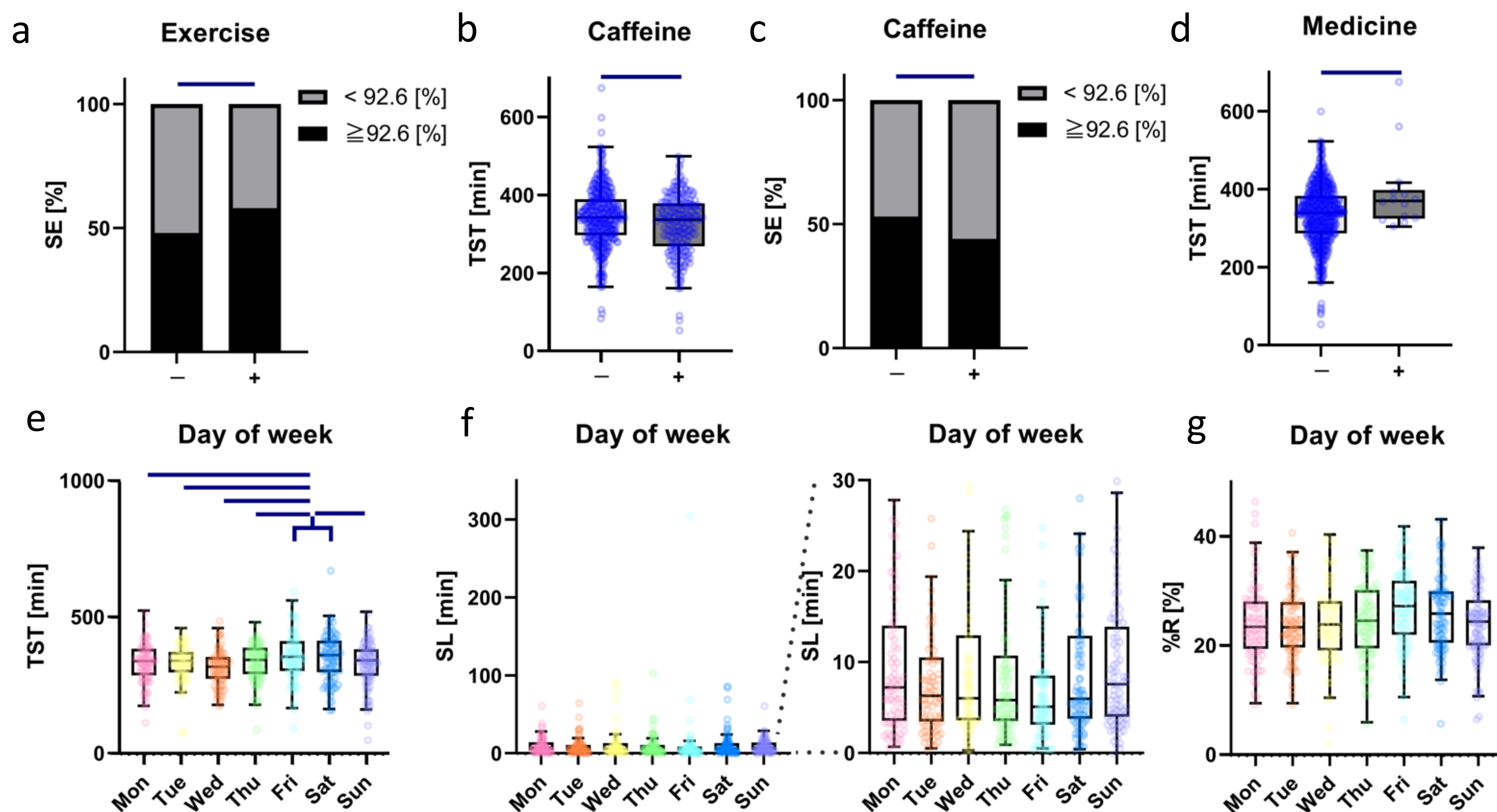
簡易型睡眠脳波計 (株式会社S' UIMIN社製InSomnografのプロトタイプ)

睡眠ポリグラフ検査との一致率が $86.9 \pm 3.8\%$ を示す簡易型睡眠脳波計を開発した。



日中の活動と睡眠内容との関連性

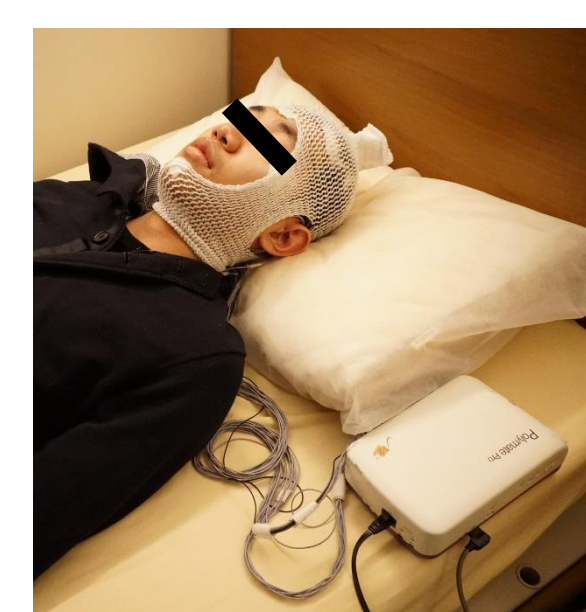
連続7晩の簡易型睡眠脳波計データによって
睡眠内容に関連する日中の活動を抽出可能



本技術の活用例: 職業に応じた睡眠悪化の要因を特定するアプローチが可能

従来技術

睡眠ポリグラフ検査



多くの電極を装着
自然な眠りを妨害
特別な機器が必要
解析に熟練を要する

光電容積脈波センサー による睡眠段階推定

